

## 今日、永久歯になりました ～志星祭編～

第46回志星祭が今年も無事に終了いたしました！志星祭では、普段の授業では挑戦できない高度な歯科技工物や彫刻作品が並び、技工部門と彫刻部門で学年ごとに各賞が選出されます。今年から1年生の美術部門も賞の対象となり、さらに多彩な作品が集まりました。今年もハイレベルな力作が揃いましたので、受賞した7名を紹介いたします♪

### 研究科



山崎詩 彫刻部門 校友会会長賞  
(大樹高校出身)



#### ● 受賞した感想

学祭で、一度も受賞したことがなかったのでとても嬉しかったです。この3年間を通して、1つの歯に時間をかけながらも、本気で丁寧に彫刻することはとても大事に感じました。

#### ● 難しかった所

咬合面や歯根を彫る作業が大変でした。咬合面では模型を片手に何度も見ながら溝の深みや形を再現するのが難しかったです。歯根を彫る際は、折れないよう慎重に作業しましたが、ボキッと折れてしまったので彫っていて一番苦戦した所です。



岩井太希 技工部門 校友会会長賞  
(千歳北陽高校出身)



#### ● 受賞した感想

今まで習った技術を作品に応用できたかなと思いました。また、受賞できたことを嬉しく思いました。

#### ● 大変だった所

部分床義歯の適合を合わせるのが難しく大変でした。

### 本科2年生



流陽羽 彫刻部門 理事長賞  
技工部門 校長賞  
(恵庭南高校出身)



#### ● 受賞した感想

技工部門は1年生の時にはなかったので、まさか受賞できると思ってなくてびっくりしました。去年は彫刻部門、今年は彫刻と技工のダブル受賞で本当にうれしかったです！

#### ● アピールポイント

彫刻では歯根が折れるギリギリまで再現したのでそこが見どころです！技工はいかに気持ち悪くできるか意識したのですが、思いのほか可愛くできちゃいました…



佐藤愛利 彫刻部門 優秀賞  
技工部門 努力賞  
(東川高校出身)



#### ● 受賞した感想

去年に引き続き、賞を頂くことができ、とても嬉しいです。これからも技術を磨いて成長し、頑張っていきます。

#### ● 難しかった所

金属床の歯は、人の歯ではなくイルカの歯を模倣してつくったので、すごく難しかったです。ですが人間の歯との違いがとても面白く、今でも色々な生き物の歯を見比べたりしています。

### 本科1年生



関根愛結音 彫刻部門 最優秀賞  
(紋別高校出身)



#### ● 受賞した感想

受賞するぐらいの自信はなかったので、とても嬉しかったです。これからがんばっていきます。

#### ● アピールポイント

授業では、取り扱ってない歯だったので咬頭の高さや溝の深さに苦戦しました。時間がかかった分、細かい部分が丁寧にできました。



山口隆ノ介 彫刻部門 優秀賞  
(札幌丘珠高校出身)



#### ● 受賞した感想

まさか自分が受賞するとは思ってませんでした。でも割とこたわって彫ったので嬉しいです。

#### ● 難しかった所

歯根を彫刻するのが大変でした。本物に寄せる為、できるだけ細くなるように意識しましたが、途中で折れるんじゃないかとヒヤヒヤしました。



清水琉花 美術作品部門 優秀賞  
(紋別高校出身)



#### ● 受賞した感想

提出期限ぎりぎりまで考えたデザインなので受賞できてとても嬉しいです。

#### ● アピールポイント

私は主に靴を頑張ったのですが、靴紐を細かくしたり、ヒール部分にきれいなカーブを付けたところがアピールポイントです。

## 黒板ギャラリー



3F 理工学室



2F 講義室



1F 講義室

志星祭では、本科2年生の学生たちが黒板アートを描きました！

## OPEN CAMPUS

11/8(土) 12/13(土) 3/25(水)

- ・交通費補助最大11,000円
- ・美味しいランチ付き
- ・保護者説明会同時開催
- ・何であれ楽しめる体験実習



HP  
LINE

# タマゴ & ヒヨコ Q & A

## Q 入学前にオープンキャンパスにきた時、どんな印象でしたか？ 入学後、印象は変わりましたか？

**A** 入学前は先生たちが気軽に声をかけてくれてとても楽しく実習ができ、また行きたいと思う印象でした。入学してからは、0Cの時と変わらず、気軽に声をかけてくれるので、他愛もない話をしたりして過ごしています。また実習中は細かくアドバイスもしてくれるので、とても頼りにさせてもらっています。

## Q オープンキャンパススタッフをやってみてどうでしたか？

**A** 色々な子と話せて、来年入ってくるんだなと思うと嬉しい気持ちになりました。最初は、仲良くなれる子がいるか、声をかけられるか不安でしたが、誰でも気軽に話してくれて、短い時間ですが、とても楽しいです！

## Q 進路に悩んでいる高校生にメッセージ！

**A** まずは、自分の気になっている学校の0Cに行って、どの学校が自分に合うのか探るのが大事だと思います！また、将来どのような職に就いて過ごしていきたいか見据える事も考えてみるのもいいと思います。意外と自分が知らない職業もあると思うので、いろいろ調べてみてください。私自身も元々歯科技工士という職業を知りませんでしたが、調べてみると興味を持ち歯科技工士になろうと思ったので、色々調べるのも策だと思います。

## Q 国家試験が近づいていますが、どんな勉強方法に取り組んでいますか？

**A** 放課後よく友達と勉強しています。お互いそれぞれ得意科目があるので、わからない所は教えあって頑張っています。

## Q 印象に残っている学校行事を教えてください。

**A** 学校祭です。出展や企画を考え、行う準備期間がとても楽しかったです。

## Q 将来どんな歯科技工士になりたいですか？

**A** 自費の補綴物を任せて頂けるような高い技術を持つ歯科技工士になりたいです。

## Q 2年連続志望校の彫刻部門で賞を受賞しましたが、去年と今年で意識したことや、成長したと感じる点はあるですか？

**A** 彫るスピードや溝の彫り方は経験を積んで、去年より成長できたと思います。そして歯1本1本の特徴や違いも以前より定着しているので、さらにその歯に近い彫刻が彫れたのではないかと思います。

## Q 道外の歯科技工所を決めた理由は何ですか？

**A** 就職して技術を身に付け、将来はインプラントなどの高度なカスタムメイドの技工物の製作に携わりたいと考えて、一般診療の割合が多い東京での就職を検討し始めました。アルバイト先の歯科医院の方々の後押しや両親、学校の先生方の協力のおかげで東京のラボへの就職を決め、無事に内定を頂けたのでその方々にとっても感謝しています。

## Q 企業見学で印象に残っていることや、学んだことはありますか？

**A** どの会社も時間短縮、効率化をとても意識しているなという印象を持ちました。ラボの改造に伴って動線を考えた配置にすることで無駄を減らしている企業や、バーの交換が最小限になるよう作業することで1分1秒でも早く多くの技工物を仕上げる事ができるように動いている方がいたり、学校生活の中ではあまり意識することが無い要素だったので、勉強になりました。

## Q 研究科に入学して一番印象に残っている授業を教えてください

**A** 外部講師の方の授業はとても印象に残るし参考になると感じました。FDの排列の授業では、WAX操作や排列のスピードが上がり、CAD/CAM設計の授業のおかげで設計への理解が深まったと思います。また、一番自分の力になったと実感するのは毎日行う30分彫刻の授業です。面接対策や日々の実習にとっても活きていると思います。

## ● 第34回 学術講演会開催

10月4日、「かでる2・7」にて北海道歯科技術専門学校校友会主催の第34回学術講演会が開催されました。今年は、業界をリードする5名の講師の方々をお招きし、歯科技工士としてのキャリア形成や企業の魅力、各社が持つ独自の取り組みなど、多岐にわたるテーマで貴重なお話をいただきました。また、今回は本校の学生も参加し、実際の現場で活躍する方々の生の声に触れることで、将来の進路や目標をより具体的に描くきっかけとなりました。学生たちにとって大変有意義で、学びに満ちた講演会となりました。

### ・学術講演会



### ・懇親会



## [11月～3月 行事予定]

11月	4日～5日	後期中間
	8日	オープンキャンパス⑦
	11日～14日	海外研修旅行
	19日～21日	国内研修旅行
12月	12日	終業
	13日	オープンキャンパス⑧
	27日～31日	全館閉鎖
1月	1日～4日	全館閉鎖
	6日	始業
	6日～9日	卒業試験
	22日～23日	進級試験
	26日～27日	進級試験
2月	15日	国家試験
3月	6日	卒業式
	11日	終業式
	25日	オープンキャンパス⑨

### ～編集後記～

SHISEIタイムズをご覧いただき、ありがとうございます。記事にもあったとおり、今年度も志望校と学術講演会が無事に終了しました。学術講演会には、卒業生40名以上と一般参加者12名が参加してくださり、大盛況のうちに終えることができました。5名の講師の先生方のお話を聞き、歯科技工士としてのあり方や技術の進歩について、改めて考えさせられる時間になりました。講演会終了後には懇親会も開かれ、年の離れた卒業生同士の交流や、久しぶりに再会した学生たちと先生方の昔話で大いに盛り上がりしました。コロナ明けから2回目となる学術講演会でしたが、卒業生同士の交流の場として、今後も新人歓迎会や学術講演会といったイベントを継続し、校友会活動をさらに充実させていきたいと感じました。

編集担当 飯野

## KITAIHIRO SNAP

KITAIHIRO SNAPでは学校行事・日常の様子をお届けします♪

